

はじめに

Microfleur フラワープレスをお買い上げ頂きありがとうございます。最初にご使用説明書をよくお読みください。何度か練習するだけで、**Microfleur**と電子レンジを使って植物の花、葉、その他の部分の押し花を数分間で作れるようになります。

Microfleur 構成部品

当キットは以下を含んでいます。

- A　　圧盤 2 枚
- B　　クリップ 2 個 (MAX は 4 個)
- C　　フィルパック 1 セット
 - 内容： パッド 2 枚
 - 布製シート 2 枚

フィルパックを包装してあるビニール袋は電子レンジには入れないでください。

ご注意

Microfleur ご使用の際には、お手持ちの電子レンジ取扱説明書に掲載されている安全のための注意事項に従ってください。特に、乾燥中は熱い蒸気が発生しますので、電子レンジで加熱後の **Microfleur** のお取り扱いには十分ご注意ください。ピン、ホッチキス、ペーパークリップ、針金、ホイルなど金属製のものは、**Microfleur** の中へ入れたり上に載せたりしないでください。ブライダルブーケや生け花などに使われることがある金属塗料や金属粉なども同様です。

Microfleur は、食品の加熱に使用したり、食品と接触させたり、一緒に電子レンジで加熱したりしないでください。

Microfleur ご使用後は、電子レンジ内部の水滴や汚れを濡れた布巾で拭きとってください。

電子レンジの使い方

Microfleur は一般のご家庭用電子レンジでご使用頂けます。オープンではご使用になれません。電子レンジ／オープン併用のレンジをご使用の場合は、レンジ内の温度が室温であることを確認してから押し花作りにご使用ください。加熱温度は「強」（フルパワー）に設定してください。

非常に乾燥した植物を使用したり、乾燥の最終段階に近づいた時には、容器に入れた水を **Microfleur** と一緒に電子レンジ内へ置くことをお勧めします。加熱時間を秒単位で設定できない場合は、秒針のある時計やデジタルタイマーで時間を計りながら、電子レンジのスイッチを手動操作してください。

Microfleur の使い方

圧盤1枚をうねのある側を下にしてテーブルに置き、その上にパッド1枚を重ね、そのパッドの上に布製シート1枚を置きます。

押し花にしたい植物を布製シートの上に置きます。植物同士が接触したり重なったりしないよう、平らに並べてください。複数の植物を同時に乾燥させる場合は、同じタイプの植物を選ぶことをお勧めします。植物同士が接触したり重なったりしない限り、布製シートに並べられるだけいくつでも乾燥できます。その上に、もう1枚の布製シートを静かに置き、残りのパッド、圧盤（うねのある側を上に）の順に重ねます。（FIG 1の図をご覧ください。）

圧盤に上から軽く力を加えながら、向かい合った2辺にそれぞれクリップをはめ、各部品をしっかりと固定させます。（FIG 2の図をご覧ください。）

Microfleur に植物を入れすぎないようご注意ください。クリップはスライドさせて簡単に装着できるようになっています。**Microfleur** に植物を入れすぎた時にクリップを無理にはめると、圧盤が変形して元に戻らなくなる恐れがあります。

以上で **Microfleur** を電子レンジに入れる準備ができました。

乾燥時間

乾燥所要時間はいろいろな要因に左右されます。最も重要なのは、電子レンジの出力と植物に含まれている水分です。低出力（500 ワット）の電子レンジでは高出力（1000 ワット）のものより時間がかかり、肉厚だったり水分の多い花は乾燥した花や葉より時間がかかります。

植物は段階的に乾燥させます。まず強力な初回加熱から始め、完全に乾燥するまで必要に応じて短時間の加熱を繰り返します。目安としては、600 ワットの電子レンジの初回加熱は約 45 秒、750 ワットは 30 秒、900 ワットは 20 秒です。それ以降の加熱時間は初回の約半分から 3 分の 1 とします。

植物が、摘んだ後に部分的に乾燥していたり、あるいは摘む前に強風、日光、低湿度に長期間さらされていた場合があります。このような場合、あるいは初めての植物を乾燥する場合、初回加熱時間を半分に減らすことをお勧めします。

容器に入れた水と一緒に電子レンジで加熱する場合は（「電子レンジの使い方」をご覧ください）、水を使用しない場合の 2 倍前後に加熱時間を延長する必要があります。

1 回に長時間加熱する代わりに短時間の乾燥を繰り返す方法には、次のような利点があります。

- 仕上がり状態をコントロールしやすいこと。
- 植物に厚い部分と薄い部分がある場合（例えばガクと花びら）、薄い部分を破壊せずに厚い部分を徐々に乾燥できること。
- 植物に多少の水分が残っている間は、花びらや他の部分の位置を動かしたりしやすいこと。

乾燥の目的は、各部が垂れ下がったりせず、触った時に乾燥した「紙」のような感触を持つ、適度に硬い状態を達成することです。植物が冷めた後、親指と人差指の間や唇で触ってみて、水分が残っていないかどうか確認します。

特に薄い植物や葉や花びらなどは、乾燥しすぎるとろくなり、長時間加熱しすぎると焼けてしまいます。新鮮な植物は、摘んでから時間が経過しているものより乾燥に時間がかかります。したがって、焼けてしまう可能性は低いですが、摘む前に長期間にわたり強風と日光にさらされていた場合は例外です。

練習すれば、かなり大きく水分の多い花も **Microfleur** で丸ごと押し花にできます。例えば、バラ、キク、ツバキの花などです。これらの花は水分を多く含んでいるため乾燥に数分間かかり、しかも段階的に加熱しなければなりません。 **Microfleur** を開けて植物を「休ませ」、各回に 20 秒から 30 秒の間を置きながら加熱すると、蒸気が自然蒸発し乾燥プロセスを助けます。植物が乾燥の最終段階に近づいたら、加熱時間を 10 秒、あるいは 5 秒に短縮します。

お役に立つヒント

花や植物の部分には **Microfleur** で押し花にできないものもありますが、基本的には、従来の方法で押し花にできるものは **Microfleur** を使用できます。**Microfleur** には、短時間で結果が得られ、一般的に色をよく保持できるという利点があります。

いろいろな植物を試すうちに、**Microfleur** に適した種類を知ることができます。ユリ、チューリップ、モクレン、ベゴニア、ある種のホウセンカなど大型または肉厚の花は、押し花にするのが困難あるいは不可能です。指で花びらをつぶしてみて液体が出てきたら、あまり良い結果は望めません。ただし、それには例外もあり、スイセンやある種のランの花などは **Microfleur** で押し花にすることができます。

ランやアイリス、ふくらんだ花床があつたり長いトランペット形など複雑な形の花は、できるだけ平らに並べられるように、各部分を解体したり切り離したりしたほうが良いでしょう。乾燥後に各部分を組み合わせて花の形にしたり、独自のデザインを創造してください。

押し花は時間が経つと色褪せする傾向があります。色褪せの原因是、日光、色の濃さ、植物の厚さと細胞構造などです。ある種の赤色、バイオレット系、緑色は乾燥中に色が多少変化する傾向があり、斑入りの花では強い色がにじむことがあります。

植物によっては、緑色の葉が紅葉した時の色に変わります。乾燥しすぎが原因の場合もありますが、ある種の植物についてはこの変色を防ぐことはできません。

最初は花びらが一重の平らでシンプルな形の植物から始め、経験を積んでから複雑な形の植物を試してください。新鮮で乾いた（水滴などが付いていない）植物を使用します。古い花やシダ類の葉に比べて、咲いたばかりの新鮮なものは茶色くなりにくいものです。

花のつぼみは半分に切り、茎は鋭いカッターなどで薄くそぎ、できるだけ平らにします。キク、アスター、ガーベラなどは厚みのある花ですが、通常は花床を削らなくても *Microfleur* で押し花にできます。

花に限らず、ハーブ、葉、茎、花びら、おしべなどいろいろな部分を試してください。シダ類の葉や蔓植物のつるなども素敵な装飾品になります。

布製シートから押し花がなかなか剥がれない場合は、シートをいろいろな方向に少しづつ引っ張ると剥がれやすくなります。

押し花の取り扱いには、先端が平らなピンセットや毛抜きを使用し、完成品は使う時まで紙に挟んだりホルダーに入れて保管してください。

押し花は個性的な文房具、カード、しおり、メニューを始めいろいろな目的に利用できます。例えば、額に入れて飾ったり、ラミネートしたり、デクページュに利用したりなどです。手工芸の本にいろいろなアイディアが載っていますが、ご自分の想像力を駆使して押し花を活用してください。

押し花を紙やカードに貼り付けるには、良質の工芸用 PVA 透明乾燥接着剤やゴムセメントを使用します。のり付けには、細い絵画ブラシ、ツマヨウジ、串などを利用します。

Microfleur のお手入れ

圧盤とクリップは、使用後に濡れた布巾で拭き、乾いてから保管します。布製シートは上質な綿生地なので、染みがつかないよう定期的に洗ってアイロンをかけます。または、良質の綿 100% の布を代用することもできます。

パッドは、染みが付着しても洗わないでください。通常の使用方法で数百回使うことができますが、徐々に衰えてきますのでいずれは交換が必要です。また、加熱時間が長すぎると焦げて破損する恐れもあります。

交換用のフィルパックは販売店にてお求めください。純正パッド以外のものをご使用になりますと、過熱したり、保証が無効になることがあります。

保証

Microfleur の材質や構造に欠陥がありましたら、ご購入時の箱に入れて販売店へご返品頂ければ無料でお取り替えいたします。

この保証は、新品をお買い上げ頂いたお客様に限り、ご購入日より 1 年間有効です。誤った使用方法や取扱方法を原因とする破損などは、保証の対象とはなりません。フィルパックは消耗品のため、交換の費用はお客様にご負担頂きます。また、*Microfleur* 返品の送料はお客様のご負担となりますのでご了承ください。

商品の保証は上記の内容に限らせて頂きます。

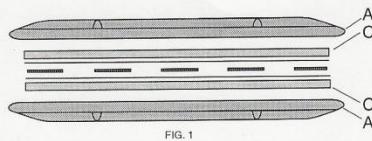


FIG. 1

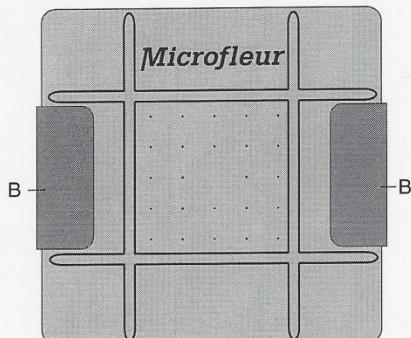


FIG. 2

はじめに

Microfleur フラワープレスをお買い上げ頂きありがとうございます。最初にご使用説明書をよくお読みください。何度も練習するだけで、**Microfleur**と電子レンジを使って植物の花、葉、その他の部分の押し花を数分間で作れるようになります。

Microfleur 構成部品

当キットは以下を含んでいます。

- A 圧盤 2枚
- B クリップ 2個 (MAX は 4個)
- C フィルパック 1セット
内容：パッド 2枚
布製シート 2枚

フィルパックを包装してあるビニール袋は電子レンジには入れないでください。

ご注意

Microfleur ご使用の際には、お手持ちの電子レンジ取扱説明書に掲載されている安全のための注意事項に従ってください。特に、乾燥中は熱い蒸気が発生しますので、電子レンジで加熱後の**Microfleur**のお取り扱いには十分ご注意ください。BIN、ホッチキス、ペーパークリップ、針金、ホイルなど金属製のものは、**Microfleur**の中へ入れたり上に載せたりしないでください。ブライダルブーケや生け花などに使われることがある金属塗料や金属粉なども同様です。

Microfleur は、食品の加熱に使用したり、食品と接触させたり、一緒に電子レンジで加熱したりしないでください。

Microfleur ご使用後は、電子レンジ内部の水滴や汚れを濡れた布巾で拭きとってください。

1

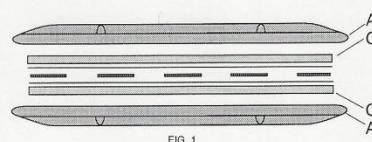


FIG. 1

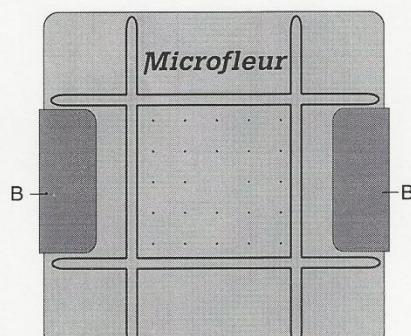


FIG. 2

はじめに

Microfleur フラワープレスをお買い上げ頂きありがとうございます。最初にご使用説明書をよくお読みください。何度も練習するだけで、**Microfleur**と電子レンジを使って植物の花、葉、その他の部分の押し花を数分間で作れるようになります。

Microfleur 構成部品

当キットは以下を含んでいます。

- A 圧盤 2枚
- B クリップ 2個 (MAX は 4個)
- C フィルパック 1セット
内容：パッド 2枚
布製シート 2枚

フィルパックを包装してあるビニール袋は電子レンジには入れないでください。

ご注意

Microfleur ご使用の際には、お手持ちの電子レンジ取扱説明書に掲載されている安全のための注意事項に従ってください。特に、乾燥中は熱い蒸気が発生しますので、電子レンジで加熱後の**Microfleur**のお取り扱いには十分ご注意ください。BIN、ホッチキス、ペーパークリップ、針金、ホイルなど金属製のものは、**Microfleur**の中へ入れたり上に載せたりしないでください。ブライダルブーケや生け花などに使われることがある金属塗料や金属粉なども同様です。

Microfleur は、食品の加熱に使用したり、食品と接触させたり、一緒に電子レンジで加熱したりしないでください。

Microfleur ご使用後は、電子レンジ内部の水滴や汚れを濡れた布巾で拭きとってください。

1